

## 東海支部愛知地域会 2024年度 第3回役員会議事録

日 時 : 2024年8月2日(金) 15:00~16:30  
 場 所 : 昭和ビル5階 会議室 (名古屋市中区栄四丁目3番26号)  
 ※WEB会議を併用  
 出 席 : 野々川光昭 地域会長 近藤万記子 西村和哉 間瀬高歩 各副地域会長  
(順不同・敬称略)  
下線オンライン出席 澤村喜久夫 本部理事・会長補佐 森哲哉 直前地域会長  
 笹野直之 内藤正隆 川本直義 寺田智之 関口啓介 金山美登利 花井秀哲 中川竜夫  
 柳澤力 各委員長・副委員長  
 川口亜稀子 恒川和久 各委員長  
 水野豊秋 吉元学 両監査  
 委任状出席: 生津康広 会長補佐 井村正和 副委員長 東福大輔  
 オブザーバー: 鈴木利明 顧問  
 熊野敏行 JIA・愛知賛助会  
 欠 席 : 高木耕一 副地域会長 太幡英亮 石川英樹 黒野有一郎  
 議 長 : 近藤万記子  
 議事録作成担当委員会: 事業委員会  
 議事録署名人: 西村和哉 柳澤力  
 前回議事録確認: 2024年度第2回議事録

## 議 事

## 1. 地域会長挨拶

会員事務所へ運営協力費のお願いが近々郵送にて送付されますので、ぜひご協力をお願いいたします。

財務については、昨年度の決算が出ているので、見直した上で皆さんに見ていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

本日の建設工業新聞で、資格制度の在り方を探るという記事が掲載されました。三団体の皆さんに告知されました。これから協議がスタートすると記載されています。

## 2. 審議事項

- ・入会届 正会員 葛島隆之 (ジュニア会員 2017年から) (内藤) 資料は画面共有のみ  
資格取得後7年経過ののち正会員として入会 →承認
- ・事業計画書 建築WS@豊橋「お店をつくろう!」(黒野, 金山代読) →承認 資料-1
- ・おかざき木づかい塾 協力について(西村) →承認 資料-2
- ・事業報告 児童センターWS(7/14)(金山) →承認 資料-3

## 3. 協議事項

- ・新入会員懇親会会費について(内藤) 資料-4  
新人ガイダンスを行ったのち、初回の懇親会でご招待では?(水野)  
ガイダンス後すぐの懇親会ではスケジュール調整できずに欠席されることもある。チャンスは1回ではなく、1年以内がベターではないか。(笹野)  
臨機応変に対応すれば良いのではないか。(水野)  
⇒準会員についても懇親会にご招待する。  
⇒入会后1年以内の初回懇親会にご招待する。(準会員・正会員) →審議承認
- ・NAF2025 中部設計競技協賛について(野々川) 資料-5  
昨年度は、二口につき2万円/東海支部、2万円/愛知地域会でしたが、本年度は、3万円/東海支部、3万円/愛知地域会 →次回審議

## 4. 専決事項(後援名義・広告掲載・協賛など)

構造寺子屋の後援名義使用について 愛知県建築住宅センター(野々川) 資料-6  
後援名義使用について承諾した。

## 5. 報告事項

- (1) 委員会、地区会、研究会報告

- 1 総務委員会（笹野、内藤）7/29 委員会 語りあう会・暑気払い準備
- 2 広報委員会（川本）7/18  
ホームページの更新について、更新内容については、データをお渡し、更新作業も終わり、最終チェック中。来週早々に返事。会員の変更など、追加編集し、更新されるのは8月のお盆前を予定。次回8月22日に開催。
- 3 職能・資格制度委員会（寺田、関口）7/19 ケンバイセミナー10月  
・登録建築家の特別委員会の進捗状況についてフォローしていただいている。  
・建築基本法について最近少し興味が起こっているという話があり、そちらについての議論がある。  
・職能関連として、10月頃にケンバイ保険の勉強会を開けるよう準備中。建築会館の花原さんと調整をしている。  
・次回は8月30日開催予定。
- 4 事業委員会（金山、花井、中川）  
・愛知県児童総合センターWS 7/14 実施終了  
・建築WS@豊橋「お店を作ろう」 準備・審査8/28, 29、展示・表彰8/30, 31, 9/1  
・JIA 岐阜各務原市福祉フェスティバル一寸格子WS 10/5  
・猪高小一寸格子WS 1日目11/19火、2日目12/10火、予備日12/17火  
・次回8/5開催予定
- 5 建築相談委員会（柳澤）7/22 資料-7  
・今年は、例年の三倍ぐらいの相談案件が来ている。委員会会員数が倍ぐらい増えているが、未経験者が増えたので、古い人と新しい人を2人ペアにして相談対応を行うということを試験的に始めている。新しい会員にどのように相談を受けるとか。これは引き受ける、引き受けない。などいろいろルールがあるので改めて資料作成し、配布・説明をしている。  
・去年の全国連携会議の際、他支部の相談の仕方などの情報交換をした。特に首都圏と東海支部の違いについて問題提起。  
・10月17日、弁護士会と意見交換会を開催予定。場合によっては相談委員会以外にも話を広げてほしいかなと思っているのでご案内します。課題としては弁護士が防災の時にどういふことを対応されているか。  
・防災について、相談委員会が担当することになったので、何をやるのか議論した。
- 6 住宅研究会（森）  
・7/27 竹藤商店見学会  
造園資材、会社の見学。参加者13名。「～庭のある暮らし～庭とスモールハウス」について平野氏からご説明頂いた。CPD2単位。  
・次回8/21 建築家+と合同で開催予定
- 7 保存研究会（川口）報告なし。
- 8 大学WG（太幡）報告なし。
- 9 行政WG（恒川）報告7/31 資料-8  
JIA 愛知地域会の災害対応について野々川さんからの報告を受けて行政委員会では特に協議なし。  
8/5の名古屋市の建築八団体の懇談会に川本さん、野々川さん、笹野さんが参加する。  
西尾のコンペの記録集の配布について、行政への配布が一番大事なので、市長さん等、重要人物に配布したい。行政ワーキングや各地域会のメンバーが分担して、自治体を回るようなことを考えたい。自治体の方をお招きし西尾コンペを題材にした研究会を開催し、その場で記録集を配布する。資料後ろの表の通り配布する。次回8月23日の行政ワーキングの前に袋詰めをして郵送する。その他九州大会でPRする場を設けられないか。アマゾンで販売できないか。西村さん確認。
- 10 建築家+WG（石川）8/21 報告なし。
- 11 まちづくりWG（黒野）報告なし。
- 12 JIA 愛知・賛助会（堀田）CPD 研修旅行について 9/18-19 開催決定  
参加者19名。追加参加申し込み可。

(2) その他報告

- ① 退会届 法人協力会員 URIMAT Japan(株)  
法人協力会 URIMAT Japan(株)が退会理由は名古屋担当者（四辻氏）退職のため。（内藤）
- ② 愛知住宅紛争審査会紛争処理委員推薦について 資料-9  
愛知弁護士会の愛知住宅紛争審査会の方から紛争処理委員推薦依頼あり。  
紛争処理委員は三年間が任期9月30日で満了。8月末までに提出のため、相談委員会の柳澤委員長に依頼をして七名の推薦者（現委員継続）を記載して提出。（野々川）

そろそろ若返りをと思っていたが、現委員のみなさんに快諾いただいたので継続とした。(柳澤)

### ③ 災害対策について

資料-10

災害対策については相談委員会、行政ワーキングが行っている。

支部に災害対策会議があり、支部長、幹事長、愛知地域会は野々川、柳澤さん、黒野さんが支部の災害対策会議の委員になっている。それに加えて、行政の働きかけに恒川さん、文化財調査修復関係で原さんが出席している。

4月19日に愛知建築士会の石井さんにこれまでの活動をヒアリング。

災害関係の協定では、愛知県の一部の市町村と避難所の応急危険度の判定を結んでいる。罹災証明を出すための家屋被害認定についても協定を結んでいる。

名古屋市とは大規模地震時における避難所の応急危険度判定業務に関する協定も結んでいる。

応急危険度判定業務は士会または事務所協会に所属していないと参加できないとのこと。

災害時の家屋被害認定は今の能登半島でもだいぶ遅れているということで問題になっているところだが、事務所協会、士会それから土地家屋調査士会、不動産鑑定士協会の四団体と愛知県の間に協定が締結されている。JIAにはこのような話は来てない。士会は県からの求めに応じたとのこと。多分国の方から県にそのような話があったと思われる。法定団体に要請があって、JIAは法定団体ではないため声がかかっていない。協定書も見せていただいた。

この協定を受けて「あいち・なごや強靱化共創センター」の講習を受け認定士になれる。これは名古屋大学と愛知県と名古屋市の組織だが、四年前ぐらいに始まっており、士会では一昨年度に三名でスタートした。昨年度はゼロ。今年は能登半島地震もあったので約60人が申し込んでいる。吉元さんは講習を受けられている。共創センターに確認したところ、協定団体の所属でないと受講はできないとのこと。

仮設復興住宅支援については基本的には、市町村が場所と必要棟数を伝えて、県が供給する。市町村には場所棟数の事前計画がすでに想定してあるが、仮設住宅群というのはしばらくの間残ってしまうので、近隣からはあまり好ましく思われないので公表してない。協定先はプレハブ協会、ツーバイフォー協会など。愛知県の棟数は一ヶ月で4,800戸、二ヶ月で28,000戸、六ヶ月で63,000戸という協定内容。仮設住宅については長くなる場合は木造で供給されているが、被災県の木材は使用できるが、施工は他県に頼ることになる。東日本でも木造の仮設住宅が再利用されず廃棄物になっているという問題があると聞いている。また、避難所生活が長くなるので、避難所の生活改善の提案も必要。坂茂さんの例のようにスピードと行政の信頼関係が必要ではないか。

文化財関係では、ヘリテージマネージャー、歴まちびと、JIA文化財修復塾修了者の協働が必要。8月1日に本部災害対策会議の奥野さんからJIAの災害対策の現状説明を聞いた。

九州・沖縄支部では四団体でネットワークを構築して協働している。

それ以外にも、関東では弁護士会など士業会が30ぐらい集まって「災害復興まちづくり支援機構」という組織がある。JIAは関東甲信越支部が参加している。

東海支部組織はあるが連携しての活動がない。

現在足りないものとか、JIAが置かれている立場がわかってきたので、今後検討していく。(野々川)

### ④ 高山ツアーについて

高山ツアーは9月13日・14日。岐阜地域会の主催で開催する。チラシ、スケジュールは後日メールする。(西村)

### ⑤ 役員会議事録 修正方法について

資料-11

役員会議事録の修正方法について今回の議事録から議事録の回覧と修正をグーグルドキュメント上で行う。やり方がわからない場合は総務委員会までお問い合わせのこと。(笹野)

### ⑥ 役員会の出欠確認方法について

9月より伝助の使用 (笹野)

## (3) 支部報告

### ① 前回議事録

資料-12

## (4) 本部報告

### 1 総務委員会 (7/22)

資料-13

・入退会の審査、東海は堀田幹博さんを承認。

・再入会の際の旧法人における滞納会費の取り扱いについて、以前の旧法人の時に資格喪失で退会された人が再入会する際に滞納した会費について基本的にその滞納した会費を納めて入会してもらう。顧問弁護士さんに確認済。移行時の法人の債権・債務、会員の権利・義務も継承しているため。実際、沖縄支部と近畿支部に事例があり今回改めて確認をした。規程により「再入会申込は滞納金を弁済した後でなければ再入会できない」となっている。

・準会員・協力会員入会申込書の書式の統一について全国統一書式を8月の理事会で上程する。

各支部で追記がある場合はそれぞれ運用で対応する。（澤村）

2 財務委員会

特になし。

3 資格制度を推進する特別委員会 第一回開催(6/28)

資料-14

メンバーは支部長、建築三会から内野さん（日事連副会長）、黒木さん（東京建築士会副会長）、本部役員が参加。

目的は社会の変遷に呼応した新たな制度として JIA 会員と建築関係団体の総意による確立に向けて活動すること。

特別委員会の役割としては幹事会検討事項の検証・調整、理事会対策、J I A 内部への広報・拡散・意見収集など。

幹事会 10 名で構成。

特別委員会は 2 ヶ月に 1 回、幹事会は 1 ヶ月に 1 回開催。幹事会には浅井支部長が入っている。

直近のタスクとしては J I A 内部合意形成とともに多団体との連携に向けての検討。8 月 30 日に第 2 回の特別委員会が開催される。（野々川）

4 住宅等連携会議（7/10）

資料-15

2025 年法改正について周知に関して本部より連絡あり。

9 月 5 日・12 日に愛知県建築指導課と愛知県住宅センター主催の講習会が昭和ビルにて開催。

10 月 24 日に J I A 全国大会マンス 九州大会でシンポジウムが決定。登壇者 4 名とファシリテーター近畿支部井上久美様が決定。

社会発信で本部のホームページの建築家の活動として各十支部の会員のインタビューを順次掲載。8 月 21 日（火）15 時～16 時半に東海支部から矢田様が参加。興味ある方は参加してください。（西村）

6. その他報告

①愛知県建築安全安心マネジメント協議会総会(7/18)について

資料-16

・愛知県建築安全安心マネジメント協議会総会 7/18 出席。

資料 1 審査機関の建築審査日数、目標 35 日に対して平均 32.3 日、特定行政庁は 56 日。右下に県の R5 の取組状況、R6 の取り組み方針を記載。

資料 3 県の第 4 次計画策定に係る検討方法の案について記載。

・国交省住宅調整官塩崎氏の「建築行政に関する最近の動向について」の公演もあった。（間瀬）

②すまいる愛知住宅賞 書類審査(7/18)

7/18 に書類審査。応募 16 作品で非常に少ない、そのうち 8 作品が現地審査。

去年の JIA 住宅建築賞の作品も候補として選出されている。（野々川）

7. 監査意見

今回は一時間半という制約の中、議事が大変であったのでは。非常に暑い日が続いていますが、いろんな事業を進められており、大変だと思います。新入会員のガイダンスはしっかりおこない、活動に参加してもらえるようにしていただきたい。是非よろしく願いいたします。（水野）

世の中イベントや企画が急速に動き出しており、JIA は身の軽さ、意思決定のスピードが良さだと思うので、乗り遅れないように素早い対応を、役員会としてもお願いできたらと思います。（吉元）

時間が少ない中、もう少し議事進行を手際よくできた所があったのではないかと思います。

最初参加者が少なかったため、決定する場面ではみんなが揃ってほしい。

時間をやりくりして役員の方は集まってほしい。（鈴木）

次回役員会 2024 年 9 月 12 日（木）17:00～19:00（JIA 東海支部事務局 会議室・WEB 会議併用）

次回議事録担当委員会：建築相談委員会

（次回総務委員会：2024 年 9 月 9 日（月）18:00～）

資料提出先：笹野直之 総務委員長

議事録作成 金山美登利  
議事録署名人 柳澤力  
議事録署名人 西村和哉